



**RaQualia**  
innovators for life

**ラクオリア創薬株式会社**

2020年12月期第2四半期決算説明会

2020年8月19日

## イベント概要

---

|          |   |
|----------|---|
| [企業名]    | ラクオリア創薬株式会社   |
| [イベント種類] | 決算説明会   |
| [イベント名]  | 2020年12月期第2四半期決算説明会   |
| [決算期]    | 2020年度 第2四半期  |
| [日程]     | 2020年8月19日  |
| [ページ数]   | 30  |
| [時間]     | 10:00 – 10:48<br>(合計：48分、登壇：35分、質疑応答：13分)                     |
| [開催場所]   | 103-0026 東京都中央区日本橋兜町3-3 兜町平和ビル3階<br>第3セミナールーム (日本証券アナリスト協会主催) |
| [会場面積]   | 145 m <sup>2</sup>  |
| [出席人数]   | 20名   |
| [登壇者]    | 2名<br>代表取締役社長 谷 直樹 (以下、谷)<br>取締役 河田 喜一郎 (以下、河田)               |

---

### サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

## 登壇

---

**司会**：定刻となりましたので、ただ今から、ラクオリア創薬株式会社様の IR ミーティングを開催いたします。

まず最初に、会社からお迎えしております、お2人の方をご紹介します。代表取締役社長、谷直樹様です。

**谷**：よろしくお願いします。

**司会**：取締役 CFO の河田喜一郎様です。

**河田**：よろしくお願いいたします。

**司会**：本日は谷社長様からご説明いただくこととなっておりますけれども、ご説明が終わりましたら質疑応答の時間を設けていただきます。

それでは谷社長様、よろしくお願いいたします。

**谷**：改めまして、谷でございます。皆様、いろんな状況の中おいでいただきまして、ありがとうございます。

では早速でございますけれども、ラクオリア創薬株式会社の 2020 年 12 月期、第 13 期になりますが、その第 2 四半期の決算説明会を行わせていただきます。

本日のプレゼンテーションの内容といたしましては、まず 2020 年度上半期の業績の概要、それから通期業績予想の修正。それから 2020 年度から 2022 年度中期経営計画の一部修正。それから 2020 年度下半期以降の想定ということで、ここに書きましたような六つのトピックについてご説明させていただきます。

さらに最後に、そのほかといたしまして、主なプログラムの状況をはじめ、いくつかの事項につきましてご説明申し上げたいと思います。

---

### サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com



## 2020年度上半期業績の概要と通期業績見通し

| [連結]<br>(単位:百万円)                              | 2019年度<br>上半期 | 2020年度<br>上半期 | 増減率    | 2019年度<br>通期 | 2020年度<br>期初予想 | 2020年度<br>修正予想 | 増減率    |
|---|---------------|---------------|--------|--------------|----------------|----------------|--------|
| 事業収益  | 545           | 372           | -31.7% | 1,702        | 2,129          | 1,579          | -25.8% |
| 事業費用  | 848           | 776           | -8.5%  | 1,718        | 2,059          | 1,840          | -10.6% |
| (内) 人件費                                       | 308           | 331           | 7.5%   | 616          | 705            | 673            | -4.5%  |
| (内) 研究開発費                                     | 430           | 111           | -74.1% | 221          | 418            | 379            | -9.3%  |
| 営業利益又は<br>営業損失 (△)                            | △302          | △403          | -      | △15          | 70             | △260           | -      |
| 経常利益又は<br>経常損失 (△)                            | △307          | △402          | -      | 21           | 85             | △256           | -      |
| 親会社株主に帰属する<br>当期純利益又は親会社<br>に帰属する当期純損失<br>(△) | △310          | △459          | -      | 5            | 13             | △333           | -      |

ご注意：本資料は投資勧誘を目的に作成されたものではありません。投資を行われる際には投資家ご自身で判断していただくようお願いいたします。また本資料最終頁末尾の留意事項を必ずご確認ください。  
Copyright © 2020 RaQualia Pharma Inc. All Rights Reserved

3

まず、2020年度上半期業績でございますけれども、事業収益が3億7,200万円、それから事業費用が7億7,600万円ということで、営業損失が4億300万円。経常利益が4億200万円、当期利益が4億5,900万円という結果となりました。増減率でいいますと、事業収益につきましては昨年同期に比較いたしまして、31.7%の減少ということになっております。

2020年度の通期でございますけれども、期初予想は21億2,900万円の事業収益を想定しておりましたが、新たに下方修正をいたしまして、2020年度の修正予想は15億7,900万円、当期の期初予想から25.8%の減少ということになっております。

また事業費用につきましては、20億5,900万円の期初予想から10.6%の減少で、18億4,000万円ということで、当期修正予想の営業利益といたしましては2億6,000万円の損失。経常利益につきましては2億5,600万円の損失。純損失といたしましては3億3,300万円の損失と、そういう結果を今回、発表しております。

### サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375  
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com

## 2020年度上半期の事業ハイライト

### COVID-19の影響により前年同期比で事業収益が減少

- ✓ 新型コロナウイルス感染症（COVID-19、以下「COVID-19」）の感染拡大
  - 物流・製品供給に一時的な影響
  - 在庫調整
  - 導出等の事業開発活動で支障

#### 上市品の動向

|             |  |
|-------------|--|
| GALLIPRANT® | <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 米国 : COVID-19、在庫圧縮等が第1四半期に影響<br/>第2四半期は回復基調、売上は伸び悩む</li> <li>✓ 欧州等 : 堅調に推移</li> </ul> |
| ENTYCE®     | <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 米国 : COVID-19、在庫圧縮等が第1四半期に影響<br/>第2四半期は回復基調</li> </ul>                                |
| K-CAB®      | <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 韓国 : 院外処方伸長も、<br/>一時的な物流混乱や在庫調整が影響</li> </ul>   |

ご注意：本資料は投資勧誘を目的に作成されたものではありません。投資を行われる際には投資家ご自身で判断していただくようお願いいたします。また本資料最終頁末尾の留意事項を必ずご参照ください。  
Copyright © 2020 RaQualia Pharma Inc. All Rights Reserved

4

残念ながら下期業績を下方に修正することになったわけでございますけれども、主な要因といたしましては、現在、一番問題となっております新型コロナウイルス感染症の感染拡大によって、特にわれわれが発売といたしますか、ライセンサーを通じて発売しております発売品目の物流・製品供給に一時的な影響が出たこと。

さらに、在庫調整が行われたこと。それから導出等の事業開発活動で支障が生じたこと。これらの要因によって、事業収益が減少しております。

主なわれわれが上市しております3品目について、それぞれの状況でございます。

まず、ペット用医薬品の、痛みの治療剤である GALLIPRANT につきましては、特に米国におきまして在庫圧縮等が第1四半期に影響を受けました。第2四半期は回復基調にありますけれども、上半期全体といたしましては売上は伸び悩んでおります。

一方、欧州等をはじめとする米国以外の地域におきましては、堅調に推移いたしました。

#### サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com

ENTYCE、犬の食欲増進剤ですね。これにつきましては米国だけで発売しておりますけれども、これも同様にコロナウイルスの影響によりまして、在庫圧縮等が特に第1四半期に影響を与えました。第2四半期におきましては回復基調になっております。

韓国の tegoprazan、韓国における商品名 K-CAB でございますけれども、逆流性食道炎の治療剤。これは院外処方非常に伸びましたけれども、特に上半期の前半におきまして、一時的な物流混乱。韓国は特に1月以降、この新型コロナウイルスの影響を1月、2月と非常に大きな影響を受けたわけですが、一時的な物流混乱、在庫調整が影響いたしまして、若干伸び悩んでいると、そういう状況でございます。



## 2020年度～2022年度中期経営計画の一部修正

### COVID-19の影響を踏まえ販売ロイヤルティ収入を下方修正

#### <事業収益>

- ✓ COVID-19による業績へのマイナス影響を反映：
  - 2020年度上半期のペット用医薬品の売上を踏まえ、3カ年計画に反映
- ✓ 導出済みプログラムの開発：概ね計画通り
  - tegoprazan：グローバル開発が進展
  - イオンチャンネル創薬：導出先における臨床開発等が順調
  - タミバロテン：提携先Syros社の臨床開発は順調

#### <事業費用>

- ✓ 事業原価：期初予想から減額
  - ・販売ロイヤルティ収入の修正に伴う支払ロイヤルティ減少

ご注意：本資料は投資勧誘を目的に作成されたものではありません。投資を行われる際には投資家ご自身で判断していただくようお願いいたします。また本資料最終頁末尾の留意事項を必ずご確認ください。  
Copyright © 2020 RaQualia Pharma Inc. All Rights Reserved

7

2020年度通期業績予想の修正に伴いまして、2020年度から2022年度、中期経営計画の一部修正を行っております。

中期経営計画につきましては、この新型コロナウイルス、COVID-19の影響を踏まえて、販売ロイヤルティ収入を下方修正しております。2020年度上半期のペット用医薬品の売上の伸び悩み、これを踏まえて3カ年計画に反映しております。

#### サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com



そのほかにつきましては、導出済みプログラムの開発については、これはまた後でも述べますけれども、概ね計画どおりに進捗するものとして、中期経営計画を組み立てております。

また事業費用につきましては、事業原価につきましては、これは販売ロイヤルティ収入の修正に伴う支払ロイヤルティの減少ということで、期初予想から若干の減額をしております。



## 中期経営計画「Gaia2021」：数値目標の修正

| 【連結】<br>(単位：百万円)                              | 新予想 (単位：百万円)      |                     |                    |                     |                    |                     |                    |
|---|-------------------|---------------------|--------------------|---------------------|--------------------|---------------------|--------------------|
|   | 2019年12月期<br>(実績) | 2020年12月期<br>(期初計画) | 2020年12月期<br>(新計画) | 2021年12月期<br>(従来目標) | 2021年12月期<br>(新目標) | 2022年12月期<br>(従来目標) | 2022年12月期<br>(新目標) |
| 事業収益  | 1,702             | <b>2,129</b>        | <b>1,579</b>       | <b>2,543</b>        | <b>2,349</b>       | <b>2,535</b>        | <b>2,305</b>       |
| 事業費用  | 1,718             | <b>2,059</b>        | <b>1,840</b>       | <b>2,209</b>        | <b>2,143</b>       | <b>2,168</b>        | <b>2,060</b>       |
| (内) 人件費                                       | 616               | <b>705</b>          | <b>673</b>         | <b>770</b>          | <b>770</b>         | <b>789</b>          | <b>789</b>         |
| (内) 研究開発費                                     | 221               | <b>396</b>          | <b>379</b>         | <b>358</b>          | <b>358</b>         | <b>360</b>          | <b>360</b>         |
| 営業利益又は<br>営業損失 (△)                            | △15               | <b>70</b>           | <b>△260</b>        | <b>334</b>          | <b>205</b>         | <b>367</b>          | <b>244</b>         |
| 経常利益又は<br>経常損失 (△)                            | 21                | <b>85</b>           | <b>△256</b>        | <b>362</b>          | <b>233</b>         | <b>384</b>          | <b>261</b>         |
| 親会社株主に帰属する<br>当期純利益又は親会社に<br>帰属する当期純損失<br>(△) | 5                 | <b>13</b>           | <b>△333</b>        | <b>247</b>          | <b>118</b>         | <b>322</b>          | <b>200</b>         |

ご注意：本資料は投資勧誘を目的に作成されたものではありません。投資を行われる際には投資家ご自身で判断していただくようお願いいたします。また本資料最終発表の留意事項を必ずご確認ください。

Copyright © 2020 RaQualia Pharma Inc. All Rights Reserved

8

結果といたしまして、新しい計画、今年の12月期については先ほど申し上げたとおりなんですけれども、2021年の12月期、それから2022年の12月期については、それぞれ若干の下方修正を行っております。

ただ、2021年、2022年につきましては営業利益、それから経常利益とも、ここでいいますと2億5,000万円、2億4,400万円という数字を、若干減りましたけれども、いわゆる黒字という業績予想になっております。

### サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com



## 6) 事業収益の予想推移



ロイヤルティ収入による事業安定化フェーズへの移行は着々と進展

ご注意：本資料は投資勧誘を目的に作成されたものではありません。投資を行われる際には投資家ご自身で判断していただくようお願いいたします。また本資料最終頁末尾の留意事項を必ずご参照ください。  
Copyright© 2020 RaQualia Pharma Inc. All Rights Reserved 9

したがいまして、以前から申し上げておりますけれども、いわゆる不安定な一時金収入に頼ることなく、既存販売品のロイヤルティ収入による事業安定化フェーズへの移行は着々と進展していると、この中期経営計画におきましても、そういう業績の予想を立てております。

一時的に 2020 年度は若干は下回りますけれども、その後 2021 年、2022 年と順調に売上は伸びていくと、そういう見込み、予想を立てております。

続きまして、2020 年度下半期以降の想定でございます。

ペット用医薬品、それからヒト用医薬品、それから研究開発動向、tegoprazan のグローバル開発。それからイオンチャンネル創薬、タミバロテンと、このわれわれが行っております活動を六つに分けまして、そのそれぞれについてご説明を申し上げます。

### サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com

## 1) ペット用医薬品



### 投資家向けウェブキャストでの発言

#### Jeffrey Simmons (ジェフリー・シモンズ) 最高経営責任者

I think the one thing I would say is we are coming out of a V-shaped recovery in Companion Animals.  
 ---I think there's still a lot of dynamics to look at relative to international, the retail that was just brought up. So I think we're going to need the second half to see what trends stick and but I would say this, a few things. As I mentioned, we do not see the pandemic impacting our overall parasiticide and pain business. And the Companion Animals has recovered, we believe, from the setback that we saw in March and April

- ・「コンパニオンアニマルビジネスはV字回復している。  
 —〈中略〉— 3月と4月にみられた影響からリカバーしたと確信している」

ご注意：本資料は投資勧誘を目的に作成されたものではありません。投資を行われる際には投資家ご自身で判断していただくようお願いいたします。また本資料最終頁末尾の留意事項を必ずご確認ください。  
 Copyright© 2020 RaQualia Pharma Inc. All Rights Reserved

11

まずペット用医薬品。われわれのペット用医薬品で非常に大きな売上を、大きな比率を示しております、犬向けの痛み・炎症治療剤ですね。この GALLIPRANT でございますけれども、7月にエランコ社、これが投資家向けのウェブキャストを使って発言しております。

それによりますと、ちょっと細かいといいますか小さい字になっているんですけども、コンパニオンアニマルの分野においては、これはV字回復を果たすつもりであると。それでコンパニオンアニマルは回復していて、3月と4月に見られた影響からは回復したものと確信していると、エランコの CEO、ジェフリー・シモンズは述べております。

われわれも今回の GALLIPRANT の売上の若干の停滞は、これは一時的なものと考えております。今後それを埋めるような順調な回復が、米国、それからあと米国以外の欧州、あるいはそのほかの国でございますね。日本でも4月に承認されておりますけれども、そういうところでの売上が今後、下半期以降さらに2020年以降、2021年以降、順調に回復あるいは伸びてくると予想しております。

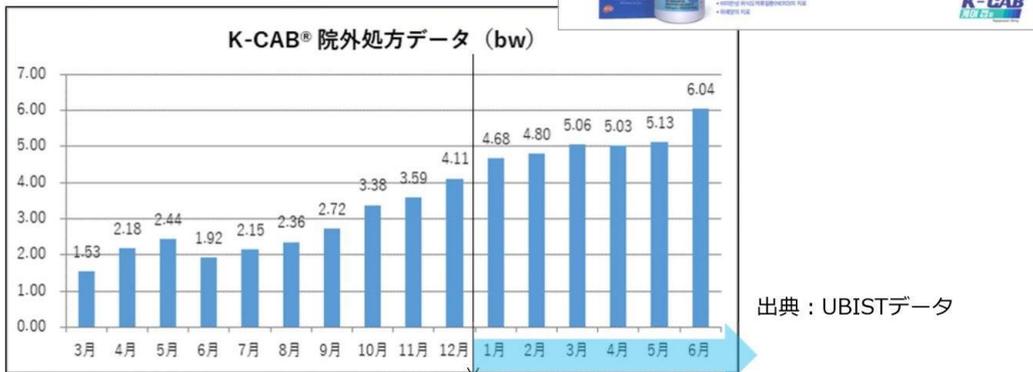
## サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375  
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

## 2) ヒト用医薬品

### 胃食道逆流症治療薬「K-CAB®」

韓国における院外処方方は引き続き好調



ご注意：本資料は投資勧誘を目的に作成されたものではありません。投資を行われる際には投資家ご自身で判断していただくようお願いいたします。また本資料最終頁末尾の留意事項を必ずご参照ください。  
Copyright© 2020 RaQualia Pharma Inc. All Rights Reserved 12

それから GALLIPRANT と並びます、もう一つのわれわれにとっての非常に大きな柱でございませ、tegoprazan ですね。胃食道逆流性の治療剤。韓国での商品名が K-CAB でございますけれども、これは K-CAB の、UBIST というところから韓国における院外処方のデータ、これを示しているものでございますけれども、非常に順調に伸びていると。

上半期の最終月であります 6 月は、60 億ウォンですから大体日本円にして 6 億円を切るぐらいになるかと思うんですけども。非常に月を追うごとに順調に伸びている。院外処方の UBIST のデータによりますと、この領域の薬剤ではいわゆるネキシウムを抜いてトップになったと分析されておりまして、非常に韓国での売上は順調に伸びていると。

当然、この下半期におきましてこの勢いは持続して、若干先ほども述べましたように、この辺りでコロナの影響によりまして、一時的に在庫調整等が行われまして。われわれのほうへのロイヤルティの収入は若干伸び悩む状況になったんですけども、その辺りももうほぼ終わっていると。

これはかつての CJ ヘルスケアですけども、今は HK イノエンという新しい名前の会社が変わってますが、経営主体とか営業主体は変わっていないんですけども。そこからは下期以降、順調に

### サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

伸びていくと。今期、通期通じて見るならば、非常に期待どおり、もしくは期待以上の数字ができるんじゃないかという情報を HK イノエンのほうからは得ておりますので。

引き続き、非常に韓国におけるこの K-CAB、tegoprazan の売上は順調であって、今後も順調に伸びていくと。そういうふうに、われわれとしても考えております。



### 3) 研究開発動向



#### 代表取締役社長・谷直樹

##### ■ tegoprazan日本

- ・ HK イノエン社（韓国）と日本での具体的な開発協力のあり方について協議を行っております。
- ・ 今秋にはめどを付けたいと考えております。

#### 創薬研究部門長・渡邊修造（取締役常務執行役員）

##### ■ イオンチャンネル創薬

- ・ 導出済みプログラム— 3つのプログラムそれぞれが、導出先において順調に開発が進んでおります。
- ・ 共同研究プログラム— 両社協力のもとに順調に創薬研究が進捗しております。
- ・ 自社プログラム— 前臨床前にもかかわらず、医薬品企業等から共同研究/導入の引き合いがあります。

研究開発動向につきましては、ここでハイライト的なところを述べさせていただきます。

特に後でも述べますけれども、ほぼ HK イノエンに、いわゆる第三世界、それから昨年の秋に欧米について、彼らが開発を行うというライセンス契約を結んでおりまして。残りが日本ということで、これも基本的な方向としては HK イノエンとラクオリア創薬が共同して、日本での開発を進めていこうということについての、ここにトップが出ておりますけれども、CEO のカン社長ですけれども、基本的な合意はできております。

ただ、それを具体的にどう具体化していくのか。日本での開発協力について、HK イノエンがどういう役割を担って、またラクオリア創薬はどういう役割を担って、日本での開発を進めていくのかということについては、まだまだいろんな細かい条件の詰めですとか、協議が必要でございます。現在、引き続き協議を行っているということです。

#### サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com



現在、コロナの影響でソウルと名古屋との間は、人と人との往来は実質的にできない状況になっているんですけれども、ウェブ会議等を活用いたしまして、今年の秋にはこの開発の具体的な協力のあり方について、なんらかのめどといいますか、合意を成立させたいと考えております。

それから創薬研究部門につきましては、本日もまいっておりますけれども、取締役常務執行役員の渡邊のほうから、こういうメッセージが出ております。

導出済みプログラムについては、導出先において順調に開発が進んでいる。それから共同研究プログラムについても、順調に創薬研究が進捗している。自社プログラム、イオンチャネル創薬については前臨床、あるいは前臨床よりさらに初期の段階、アーリーな段階にあるんですけれども、企業等から共同研究/導入の引合いが活発にあるということで。

われわれの最もコアとしておりまして、強みとしておりますイオンチャネル創薬についても、非常に研究、および導出先における開発は順調に進んでいるというのが、渡邊のほうからのメッセージでございます。

そういう全体的な話を踏まえまして、さらに個々の状況ということになります。



#### 4) tegoprazanのグローバル開発（1） ライセンス動向

2020年6月：HKイノエン社に日本以外の未許諾国・地域を追加許諾



ご注意：本資料は投資勧誘を目的に作成されたものではありません。投資を行われる際には投資家ご自身で判断していただくようお願いいたします。また本資料最終頁末尾の留意事項を必ずご参照ください。  
Copyright© 2020 RaQualia Pharma Inc. All Rights Reserved

14

#### サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com



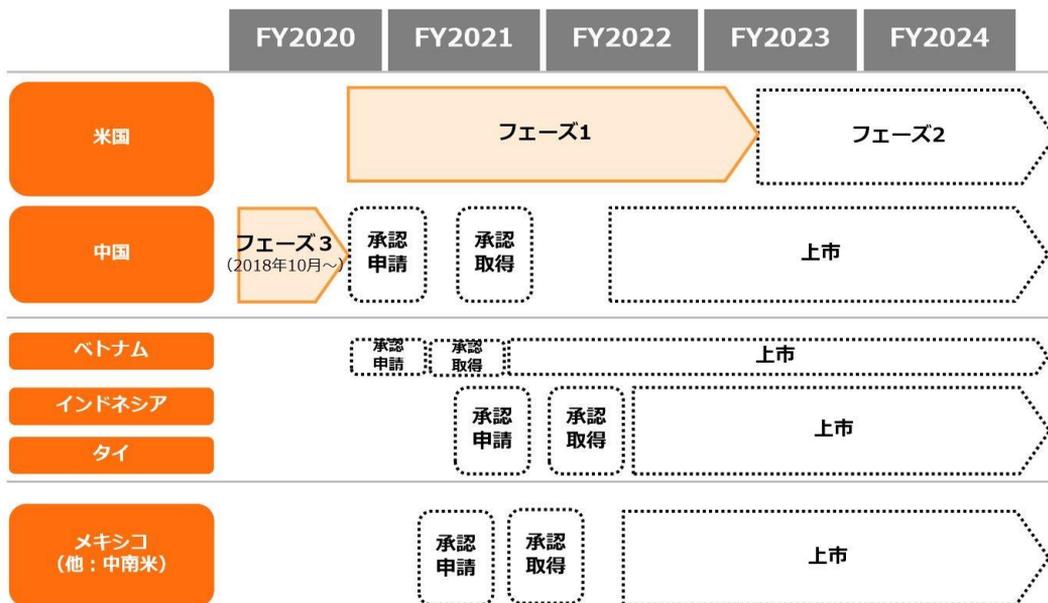
まず特に米国、HK イノエン社のほうから FDA に IND を提出いたしました。既にわれわれのほうで米国での臨床試験を実施しているんですけれども、これを踏まえまして、さらに現在の新しい製剤を用います。

当時われわれは溶液状態、原末を投与するかたちでフェーズ 1 試験をやったんですけれども、その後、製剤を使った臨床試験をやるということで、改めて IND を HK イノエンのほうから提出して、試験実施の許諾を取得していると。それでほぼ現在、日本以外の全てのテリトリーについて、HK イノエン社に供与しておりまして。この辺りの具体的な各地域別の状況は、また後で詳しく述べます。

具体的には中国と、それから東南アジア、中南米で具体的なライセンス先が、提携先が決定いたしました。それぞれ開発なり発売の準備が進められている状況ですけれども、それ以外の国々につきましても HK イノエンのほうから活発なライセンス活動が展開されております。



## 10) tegoprazan : グローバル開発(2) ロードマップ



ご注意：本資料は投資勧誘を目的に作成されたものではありません。投資を行われる際には投資家ご自身で判断していただくようお願いいたします。また本資料最終頁末尾の留意事項を必ずご参照ください。  
Copyright© 2020 RaQualia Pharma Inc. All Rights Reserved

15

それをチャートで示した図ですけれども、米国では今年からフェーズ 1 を開始して。大体フェーズ 1 で差別化のためのいろんな試験をやりますので、若干期間が延びたかたちになっております。大

### サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com



体 2021 年、2022 年ぐらいをかけて、フェーズ 1 試験をやって、その後フェーズ 2 試験に移行していくと。

もちろんこれは現在の計画でして、状況によって、またこの計画そのものは変わってくるかと思えますけれども。現在の状況としては、いくつかのいろんな基礎的な試験をこのフェーズ 1 でやるということで、若干ほかの開発品目に比べますとフェーズ 1 が長めという設定になっております。

それから中国のほうは、上海に本拠をもちます民族系の医薬品メーカー、Luoxin にライセンス、HK イノエン、当時の CJ ヘルスケアですけれども、そこからライセンスしております。

いろんな、なかなか中国ですからあまり情報はオープンじゃないんですけれども、ほぼフェーズ 3 は完了したということで。今年中にほぼ、われわれの見込みとしては今年から来年の初めにかけて、中国当局に承認申請が行われると考えております。

もちろん中国も当然コロナの影響が非常にあるんですけれども、2021 年ぐらいには承認が取得されるのではないかと。2022 年ぐらいから中国で本格的な販売が始まると見込んでおり、期待しております。

それからベトナム、インドネシア、タイ。この辺りでございますけれども、ベトナムが一番早く、来年の終わりから再来年の初めぐらいですかね。このぐらいにマーケットに出ていくと。

それから一番大きなのは、この中ではインドネシアなんですけれども、マーケットの規模としては。これも CJ、HK イノエンのほうの当然協議の結果として、彼らの承認といいますか、了承を得た上でのチャートなんですけれども。大体 2022 年の中頃ぐらいに、この辺り、インドネシア、タイ。それからメキシコ、中南米。ここは Carnot ですね、ブラジル以外の中南米全て、ライセンスしておりますけれども。

HK イノエンから、これも大体ほぼ同じ時期ぐらいに。各国の色々な規制の状況によりまして、これはまた各国の状況によるんでしょうけれども、一部臨床試験を実施したり、あるいは書類だけでいうところもあるかと思うので。大体 2022 年ぐらいにこのような、いわゆる第三世界といいますか、中国を含むそういうマーケットで、この tegoprazan が導出されていくと。これからの当然ロイヤルティ収入といいますか、そういうものがわれわれのほうに、業績に寄与してくると。そういうふうに考えております。

---

## サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com



## 5) イオンチャネル創薬

| 会社名         | 内容  |
|-------------|---|
| EAファーマ株式会社  | 消化器領域における特定のイオンチャネル<br>現在、同社にて開発中                   |
| マルホ株式会社     | 選択的ナトリウムチャネル遮断薬<br>現在、同社にて開発中                       |
| 旭化成ファーマ株式会社 | P2X7受容体拮抗薬 (RQ-00466479、AKP-23494954)<br>現在、同社にて開発中 |
| あすか製薬株式会社   | 特定のイオンチャネルを標的とした共同研究                                |

ご注意：本資料は投資勧誘を目的に作成されたものではありません。投資を行われる際には投資家ご自身で判断していただくようお願いいたします。また本資料最終頁末尾の留意事項を必ずご参照ください。  
Copyright © 2020 RaQualia Pharma Inc. All Rights Reserved

16

それから、先ほど渡邊のほうからのメッセージにもありましたとおり、いずれも現在、イオンチャネル創薬につきましては、EAファーマ、それからマルホ、旭化成ファーマ、あすか製薬と、4社に導出もしくは共同研究を行っております。

EAファーマ、マルホ、旭化成ファーマ、それぞれ共同研究等を経まして、現在はこのEAファーマ、マルホ、旭化成ファーマ、それぞれにおいて開発が進められている状況で。現在のところ、われわれの受けております説明では、いずれも順調に開発が進んでいると。

ただ、こういう医薬品業界の常識といたしまして、どういう適応症、どういうことになっていて、どういうフェーズにあるかということは、コンフィデンシャル条項ということで。あまり社外にはしゃべらないのが医薬品業界のルールになっておりますので、あまり詳しい状況は申し上げられません。

ただ旭化成ファーマのP2X7受容体拮抗薬、これはもう少し細かく発表しております。彼らのコードナンバー、それからいわゆる神経性障害、それを適応症にして開発しているのだということが現在、鋭意開発が進められておると。いずれも順調に現在、進んでおります。

### サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375  
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com

それから、あすか製薬との間では、これも特定のイオンチャネルということで、これもどういふものかは当然申し上げられないんですけども。この共同研究も順調に進行しているということで、4社との間で特定のイオンチャネルをターゲットとした共同研究、イオンチャネル創薬にかかわる開発はいずれも順調に進行している状況になっております。



## 6) タミバロテン

- 急性骨髄性白血病（AML）は、未治療および再発・難治の患者さんを対象とし、5-アザシチジン（プリストル・マイヤーズ スクイブ）と併用した場合の効果や安全性を調べるフェーズ2試験を実施中。Syros社（米国）は2020年第4四半期（2020年10-12月）に一部データを公表する予定。
- 乳がん（BC）は、AMLの併用試験の効果状況を鑑みて開始予定。
- 神経芽腫（NB）は、Epigenetic作用薬との併用により、POCを確立し、新薬承認を目指す。
- 急性前骨髄球性白血病（中国・APL）は、亜ヒ酸との併用によるATRA再発並びに不応性APLに対する中国での輸入承認を目指す。
- 好中球減少症（NP）は、導出交渉中で、可能な限り早期契約締結を目指し、がん適応以外への拡大を図る。

| 適応症   | 導出先                            | 探索 | 前臨床 | 臨床試験  |       |       | 申請 | 承認 | 販売 | 契約地域 |
|---|--------------------------------|----|-----|-------|-------|-------|----|----|----|------|
|   |                                |    |     | フェーズ1 | フェーズ2 | フェーズ3 |    |    |    |      |
| 急性骨髄性白血病<br>Acute Myeloid Leukemia: AML         | Syros Pharmaceutical, Inc. (米) | ○  | ○   | ○     | ●     | ○     |    |    |    | 米国   |
| 乳がん<br>Breast Cancer: BC                        | Syros Pharmaceutical, Inc. (米) | ○  | ○   | ○     | ○     | ○     |    |    |    | 米国   |
| 神経芽腫<br>Neuroblastoma: NB                       | 大原薬品工業株式会社                     | ○  | ○   | ○     | ●     | ○     |    |    |    | 日本   |
| 急性前骨髄球性白血病<br>Acute Promyelocytic Leukemia: APL | 東光薬品株式会社                       | ○  | ○   | ○     | ○     | ○     | ●  |    |    | 中国   |
| 好中球減少症<br>Neutropenia: NP                       | 導出交渉中                          | ○  | ○   | ○     | ○     | ○     |    |    |    | アジア  |

ご注意：本資料は投資勧誘を目的に作成されたものではありません。投資を行われる際には投資家ご自身で判断していただくようお願いいたします。また本資料最終頁末尾の留意事項を必ずご参照ください。  
Copyright © 2020 RaQualia Pharma Inc. All Rights Reserved 17

それから子会社のテムリックが権利を持っております、タミバロテンですね。これは急性白血病の治療剤。非常にある意味では古い薬で、既に APL という適応症で日本では 10 年以上前から東光薬品が承認を取得して、それが日本新薬を通じて販売されている状況なんですけれども。

これが改めて新しい適応症。新しいといっても同じ急性白血病の分野ですけども、通称 AML の分野で、アメリカのボストンにありますベンチャー会社であります、Syros Pharmaceuticals が、この AML での開発を進めております。

現在、5-アザシチジン、これと併用したフェーズ2の臨床試験を進めておまして。昨年の10月に欧州で一部フェーズ2のデータを公表しておりましたけれども、非常に今後の患者さんにとっての治癒といいますか、効果が予想されるような結果であります。

### サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com



引き続きデータを集めておりまして、Syros のいろんなカンファレンスを聞いておりますと、今年の四半期。通常、がん関係の大きな学会は大体ボストンで、ASH という学会が開かれて、ここが一番のメインになっているんですけども。どこで発表されるか、もちろんそれはまだ決めていないというか、公表はされていないんですけども、この 2020 年の四半期にデータが公表される予定ということで。

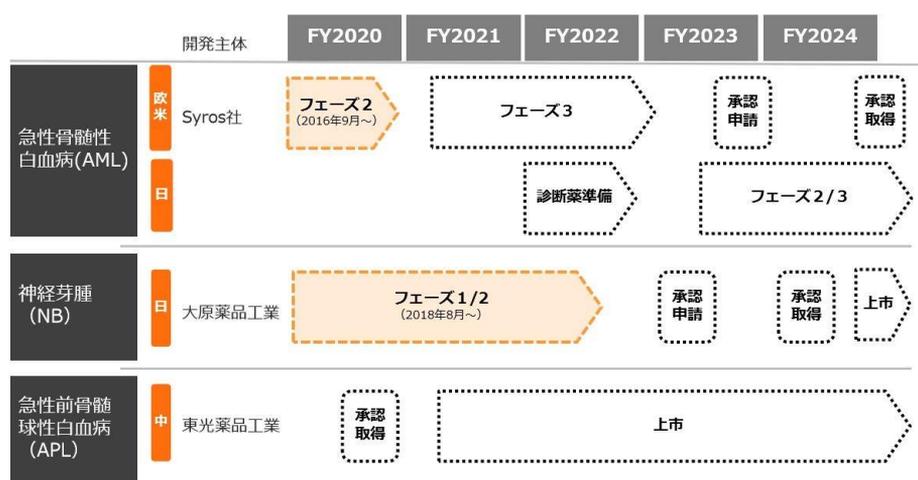
今までのところ、このテムリックからライセンスいたしましたタミバロテンの Syros による米国の開発は、非常に順調に進んでいると。

そのほかについてはそれぞれ準備中、もしくは現在申請中という段階です。

われわれとしても一番注目しておりますのは、この Syros による AML の開発ですね。これが当然、米国は非常にマーケットが大きいわけですから、これがどのように進捗していくかということは、非常に大きな関心を持って見ております。特に今年のおそらく 11 月か 12 月に学会で発表されるであろうデータ、これについては非常にわれわれも関心を持って待っているところです。



## 6) タミバロテン ロードマップ



ご注意：本資料は投資勧誘を目的に作成されたものではありません。投資を行われる際には投資家ご自身で判断していただくようお願いいたします。また本資料最終頁末尾の留意事項を必ずご参照ください。  
Copyright© 2020 RaQualia Pharma Inc. All Rights Reserved

18

### サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com



それを改めて表にいたしますと、ここら辺のところはまだ Syros がきちんと計画を立てているわけじゃないんですけれども、大体この種の血液がんの薬の標準的な開発期間を当てはめると、2023 年ぐらいに承認申請が、2024 年ぐらいに承認取得というところになるのではないかと。

それから大原薬品のほうの神経芽腫につきましては、また引き続き、これは非常にオーファンな病気ですけれども、開発は今のところ患者の症例を取得する段階です。

それから APL、これは東光薬品が中国での代理機関を使って、承認申請しているんですけども。これは現在、当局との間でやり取りが続いていると聞いております。遅くともといいますか、見込みでは 2020 年ぐらいに APL の承認が取得されるのではないかと。このタミバロテンについてはそう考えております。

いずれにいたしましても、タミバロテンにつきましては大きなマーケットである米国におきまして、開発が非常に順調に進んでいるのが、われわれにとっても非常に大きな期待ということになっております。

続きましてそのほかということで、最後に主なプログラムの状況、それから特許関連のニュース、産学官連携、さらにラクオリア イノベーションズの状況につきまして、簡単にご説明申し上げます。

---

## サポート

|         |              |         |                          |
|---------|--------------|---------|--------------------------|
| 日本      | 03-4405-3160 | 米国      | 1-800-674-8375           |
| フリーダイヤル | 0120-966-744 | メールアドレス | support@scriptsasias.com |



## 1) 主なプログラムの状況 (2) 導出準備プログラム

- カリウムイオン競合型アシッドブロッカー：P-CAB (tegoprazan/RQ-00000004) は、フェーズ1の治験総括報告書 作成完了 (2016年12月)
- 5-HT<sub>4</sub>部分作動薬 (RQ-00000010) は、フェーズ1の治験総括報告書作成完了 (2017年10月)
- 5-HT<sub>2B</sub>拮抗薬 (RQ-00310941) は、フェーズ1の治験総括報告書作成完了 (2018年4月)
- モチリン受容体作動薬 (RQ-00201894) は、前臨床試験が終了、フェーズ1の検討中
- グレリン受容体作動薬 (RQ-00433412) 及びTRPM8遮断薬 (RQ-00434739) は、前臨床試験の検討中

| プロジェクト                      | 化合物                      | 主適応症                             | 臨床試験 |     |       |       |       |    | 実施地域 |    |
|-----------------------------|--------------------------|----------------------------------|------|-----|-------|-------|-------|----|------|----|
|                             |                          |                                  | 探索   | 前臨床 | フェーズ1 | フェーズ2 | フェーズ3 | 申請 |      | 承認 |
| カリウムイオン競合型アシッドブロッカー (P-CAB) | RQ-00000004 (tegoprazan) | 胃食道逆流症 (GERD)                    | ○    | ○   | ●     |       |       |    |      | 日本 |
| 5-HT <sub>4</sub> 部分作動薬     | RQ-00000010              | 胃不全麻痺<br>機能的胃腸症<br>慢性便秘          | ○    | ○   | ●     |       |       |    |      | 英国 |
| 5-HT <sub>2B</sub> 拮抗薬      | RQ-00310941              | 下痢型過敏性腸症候群 (IBS-D)               | ○    | ○   | ●     |       |       |    |      | 英国 |
| モチリン受容体作動薬                  | RQ-00201894              | 胃不全麻痺<br>機能的胃腸症<br>術後イレウス        | ○    | ●   | ○     |       |       |    |      | 日本 |
| グレリン受容体作動薬                  | RQ-00433412              | がんに伴う食欲不振<br>悪液質症候群<br>脊髄損傷に伴う便秘 | ●    | ○   | ○     |       |       |    |      | 日本 |
| TRPM8遮断薬                    | RQ-00434739              | 神経障害性疼痛 (化学療法起因性冷アロディニア)         | ●    | ○   | ○     |       |       |    |      | 日本 |

ご注意：本資料は投資勧誘を目的に作成されたものではありません。投資を行われる際には投資家ご自身で判断していただくようお願いいたします。また本資料最終頁末尾の留意事項を必ずご参照ください。  
Copyright © 2020 RaQualia Pharma Inc. All Rights Reserved 21

それから日本につきましては準備中と。そのほかわれわれの開発のパイプラインとしては、RQ-00000010、それから 5-HT<sub>2B</sub> の拮抗薬の RQ-00310941、いずれもフェーズ1は終了しております。

それからモチリンの作動薬の RQ-00201894、これにつきましても現在、前臨床試験終了ということです。

それからグレリン受容体作動薬 RQ-00433412、われわれの間では 412 と略称しておりますけれども。これにつきましても現在、特にこれはもともと食欲不振と、がんに伴う悪液質の改善ということなんですが。それ以外にも脊髄損傷に伴う便秘に効果があるんじゃないかという、動物試験の結果が得られておりました。現在、こういう適応症の可能性も含めまして、積極的な導出活動、アライアンス活動を進めていると。それに TRPM8 遮断薬、これにつきましても同様でございます。

これらのパイプラインの化合物につきましては、引き続き、なかなかコロナで直接的な導出交渉は難しいんですけれども、オンラインによりますいろんなプレゼンテーションを通じまして、導出活動を積極的に展開すべく、いろんな活動を行っている状況です。

### サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com

## 2) 特許関連ニュース

| 日付         | 対象                                | 地域 | 内容   |
|------------|-----------------------------------|----|------|
| 2020年6月10日 | 選択的TRPM8遮断薬<br>(アザスピロ誘導体)         | 欧州 | 物質特許 |
| 2020年6月2日  | 5-HT4部分作動薬に関する新規用途                | 日本 | 用途特許 |
| 2020年3月26日 | 選択的ナトリウムチャンネル遮断薬<br>(アリールアミド誘導体)  | 中国 | 物質特許 |
| 2020年3月5日  | 選択的ナトリウムチャンネル遮断薬<br>(ピラゾロピリジン誘導体) | 韓国 | 物質特許 |
| 2020年3月3日  | 選択的ナトリウムチャンネル遮断薬<br>(ピロピリジノン誘導体)  | 韓国 | 物質特許 |
| 2020年1月7日  | 5-HT4部分作動薬に関する新規用途                | 欧州 | 用途特許 |

ご注意：本資料は投資勧誘を目的に作成されたものではありません。投資を行われる際には投資家ご自身で判断していただくようお願いいたします。また本資料最終頁末尾の留意事項を必ずご参照ください。  
Copyright© 2020 RaQualia Pharma Inc. All Rights Reserved

22

それから特許関連ニュースといたしましては、この上半期の間合計6件の特許のニュースを出しております。

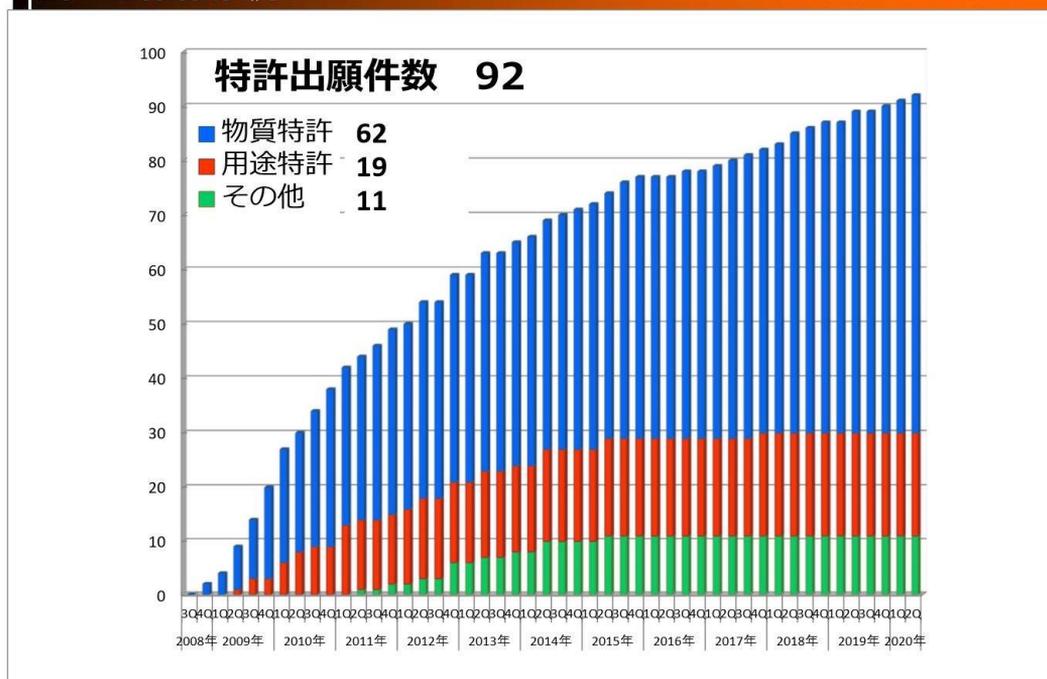
いずれも物質特許、もしくは用途特許ということで、それぞれわれわれの特許基盤を拡大しているということになります。

### サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com

2) 特許出願状況

(各国移行件数を除く)



ご注意：本資料は投資勧誘を目的に作成されたものではありません。投資を行われる際には投資家ご自身で判断していただくようお願いいたします。また本資料最終頁末尾の留意事項を必ずご参照ください。  
Copyright© 2020 RaQualia Pharma Inc. All Rights Reserved 23

引き続き、特許につきましては順調に伸びておりまして、現在われわれの有する物質特許は 62、それから用途特許は 19、そのほかは 11 というところで。このグラフを見ていただきましたらわかりますように、非常に順調に特許の出願件数も伸びているということがございます。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

### 3) 産学官連携の状況

#### 難治性神経芽腫の治療薬の開発を目的とした特定の酵素の選択的阻害剤の探索 (2015年5月)

名古屋大学大学院医学系研究科生物化学講座分子生物学 (門松 健治 教授)

#### 心不全治療薬の開発を目的とした特定タンパク質に対する選択的阻害剤の探索 (2015年10月)

名古屋大学大学院医学系研究科循環器内科学 (竹藤 幹人 助教)

#### 老化を利用した変異型KRAS肺癌の新規治療薬開発 (2018年1月)

名古屋大学大学院医療技術学専攻病態解析学講座 (佐藤 光夫 教授)

#### 網膜静脈閉塞症 (RVO) 治療薬の探索 (2019年5月)

岐阜薬科大学学生体機能解析学大講座薬効解析学研究室 (原 英彰 教授)

#### 筋委縮性側索硬化症 (ALS) の新規治療薬の創出に向けた初期探索研究 (2019年7月)

名古屋市立大学薬学系研究科病態生化学分野 (築地 仁美 講師)

#### マクロライド耐性型A群レンサ球菌に対する新規治療薬開発 (2019年12月)

名古屋市立大学医学系研究科細菌学分野 (長谷川 忠男 教授)

ご注意：本資料は投資勧誘を目的に作成されたものではありません。投資を行われる際には投資家ご自身で判断していただくようお願いいたします。また本資料最終頁末尾の留意事項を必ずご参照ください。  
Copyright© 2020 RaQualia Pharma Inc. All Rights Reserved

24

それから最後のほうになりますけれども、われわれご存知のとおり、名古屋大学に研究拠点を持っておりまして。引き続き、いわゆる産学官連携、産学連携については活発に進めております。

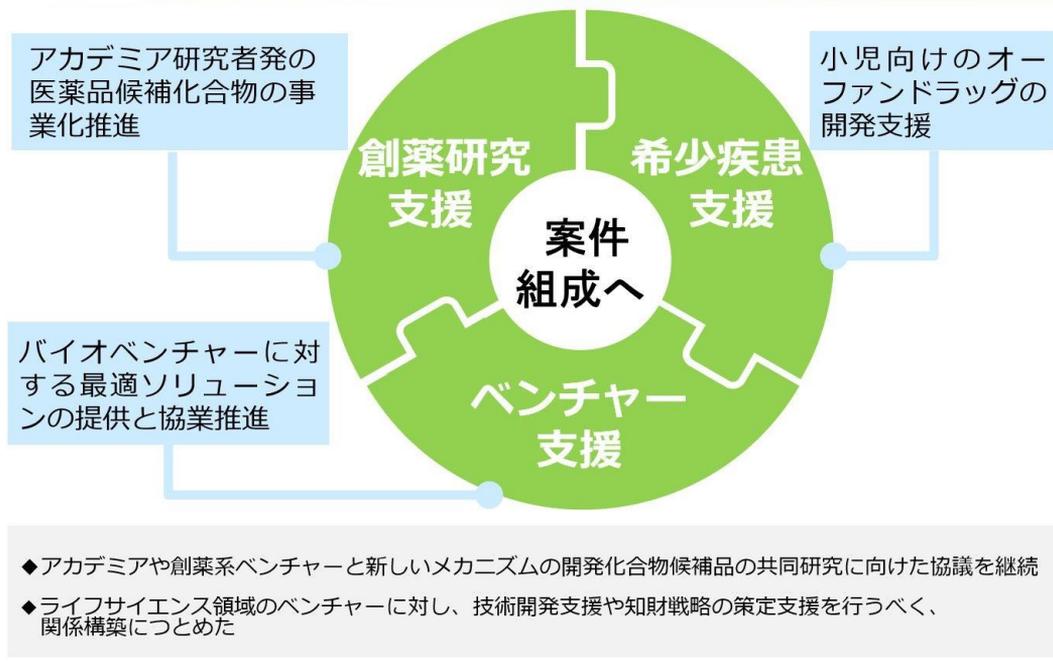
特に最近では、もちろん名古屋大学の先生方との交流を深めることは、引き続き行っているんですけども。それ以外に、特に名古屋大学そのものが非常に東海地方での連携を強めるということで、岐阜大学と新たに一つの大学をつくられるというかたちで、名古屋大学が動いておられますけれども。

われわれも岐阜薬科大学との間で共同研究、さらに名古屋市立大学との間でも共同研究を進めるということで。われわれも名古屋大学と同じように、東海地方の名古屋大学以外の大学との連携も、共同研究も進める。そういう状況になっております。

#### サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com

4) ラクオリア イノベーションズ株式会社



ご注意：本資料は投資勧誘を目的に作成されたものではありません。投資を行われる際には投資家ご自身で判断していただくようお願いいたします。また本資料最終頁末尾の留意事項を必ずご参照ください。  
Copyright © 2020 RaQualia Pharma Inc. All Rights Reserved 25

最後に、ラクオリア イノベーションズでございます。特にこういう、希少疾患支援、創薬研究支援、ベンチャー支援という大きな三つのカテゴリーに分かれているんですけども。

特にアカデミアや創薬系ベンチャーと、新しいメカニズムの共同研究に向けた協議を継続しております。

それからライフサイエンス領域のベンチャーに対して、技術開発支援、あるいは知財戦略の策定支援を行うべく、いろんな関係構築に努めて、引き続きラクオリア イノベーションズの活動も活発に続けております。

以上でございます。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com

## 質疑応答

---

**司会：**谷社長様、どうもご説明ありがとうございました。それでは質疑応答に入ります。

なお、この IR ミーティングは質疑応答部分も含め、全文を書き起こして公開する予定です。したがって、もし匿名を希望される場合は、質問される際、氏名を名乗らないようお願い申し上げます。

それではご質問、いかがでしょうか。

**オオニシ：**東洋経済のオオニシです。2~3点、聞きたいことがあるんですけども。

一つは HK イノエン社との、日本における共同研究といういい方をしていたと。これは今秋にめどをつけたいというお話だったのですが、今秋に契約みたいなものに結びつくとなると、一定の一時金みたいなものがある程度、この下期の数字の中に織り込んでいるのかどうか。

まず1点目、これを聞きたいと。

**谷：**共同開発ですね。これは実はいろんな形態が考えられる。それで、もしこれを日本におけるライセンス、商品化権の供与ということになりますと、その対価として当然、われわれのところへ一時金は収入が見込めることになります。

これにつきましては一応、まだ交渉どういう形態をとるかは、実はいろいろ協議していて、流動的なんですけども。その中で最大公約数的な見方として、なんらかの一時金というかたちで、われわれの収入にカウントされるであろうということで、それを一部を見込んでおります。

これは本当に一部というか、どう動くか分かりませんので。実際の額はこんななって、こうなると。あるいはひょっとしたら全く、われわれが例えば開発をすると。結局のところわれわれが開発して、イノエンのほうからサポートするということになりますと、その契約上は一時金はゼロになります。

そういうところで、まだちょっとその辺りが振れておりますので。大体、その真ん中ぐらいの数字をとって、下期の予想にしているところです。ちょっといいにくいのですが、そういうことで。

**オオニシ：**一定程度、入れているということですね。

**谷：**はい。

---

### サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

**オオニシ**：それから二つ目ののですが、この一時的なコロナの影響で、今期を中心にして下方修正なされたわけですが。基本的には認識としては、中計期間中、事業安定化フェーズというフェーズに入って、営業的には黒字のフェーズに入ってくると。

そのときに、このロイヤルティみたいなものが基本的に安定化の基盤になっていて、そういうものが増えてくるということだと思うのですが。

今期とかこの計画の最終年度、いわゆるロイヤルティの収入の全体に占める比率みたいなものは、どんなふうになってくるのか、なっている前提で組み立てられているのか。もしその辺り、分かれば教えていただけないでしょうか。

**谷**：河田のほうを見ておられますので、河田のほうからその辺りはお答えいたします。

**河田**：河田でございます。ご質問、どうもありがとうございます。

今期 2020 年、2021 年、2022 年の安定化収益とのことで、当然エランコ社、それから HK イノエン社からのロイヤルティというのが基本になると思います。

まずロイヤルティ部分の今期の見通しに関して、簡単にコメントさせていただきます。

動物薬のほうは二つのプログラムがございます。GALLIPRANT と ENTyce というところで。規模的には GALLIPRANT が圧倒的に多いという考え方ができると思いますけれども、今期われわれ、この上半期の状況を見ながら、当然エランコ社のほうにヒアリングもして、今期下期どんな状況になっているかということをしっかり確認しております。

この中で、ロイヤルティですね。立てた数字でございますので、そんなに間違った数字ではないかなと思っています。動物薬に関してはですね。

あと HK イノエンの件に関しましては、院外処方のところ。先ほど谷のほうからもありましたけれども、好調でございます。そういったところで、いくだろうという見方をしております。

今回、修正をしてしまいましたけれども、修正した数字に関してはしっかり収益として計上できるだろうと考えております。

割合ですが今回の修正の予算、今期の予算の比率でいいますと、大体 47%が安定的な収益でございます。

来期、再来期という話に移行していくんですけれども。来期に関しては、なんで今修正するのかという話も多分、いろんなどころであるとは思いますが、現状のロイヤルティの増減率が、そ

---

## サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com



ういったところ、販売のボリュームでありますね。その辺をしっかりと見ながら、現状をベースに来年、再来年のロイヤルティに関して、しっかりシミュレーションをした上で挙げた数字です。

ですので、数字が下がっているところはございますけれども、この部分をしっかりと稼いでいけるのかなと思っています。比率的にいうと、2021年が48から49%ぐらいの比率になっていって、2022年には50%を超えてきます。55から56ぐらいのパーセンテージで推移していきますので。

今おっしゃっていただいたように下方修正はいたしましたけれども、今回の中計期間中に、今期はこういうかたちの数字になってしまいましたけれども、21年、22年は、しっかり安定的な収益を織り込んだ上での黒字化といったところはしっかりやっていきたいなと思っています。

以上でございます。ありがとうございます。

**オオニシ**：三つ目、最後なのですが。コロナの影響、導出先、販売先のエランコ社とかイノエン社の発言、説明の上で、下期は回復する前提だと思うのですが。

実際に下期に入って7、8月、そこら辺の動きみたいなのを、御社のロイヤルティとか見た上で、実際に回復の兆しって数字に表れているのでしょうか。

**谷**：当然、タイムラグがありますので。今、われわれの手元にきているのは6月の締め数字ですね。7月、8月は当然、彼ら自身もはっきりした数字を持っているわけでは当然、まだ集計ができていないんですけれども。電話会議等で状況を聞きますと、かなり順調に回復しているというところで。

彼ら自身は、さっきのジェフリーの発言もありましたし、それからイノエンのカンさんの発言もあるんですけれども、下期は彼ら、非常に強気に見ております。ちょっと上期停滞したけれども、下期はむしろリバウンド的にどんと伸ばすんだというのが、ジェフリーないしはカン社長の発言ということで。

われわれとしても実際に売っているわけではございませんので、その発言をわれわれとしてもやはり信頼していきたいと考えております。

ただ皆様もよくご存知のとおり、コロナの影響はどう展開するのかは、それこそ1日1日変わっているような、あるいは国によって変わっているような状況なので。かなり不確実な要素を含んでいるのは、これは皆様よくご認識いただけるかと思います。

**司会**：ありがとうございました。ほかにご質問、ございますでしょうか。

**Dion**：Pathology Associates の Dion です。少し英語、大丈夫ですか？。

---

## サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com



: I just want to ask you about Tamibarotene Phase 2 result, that scientific. When you that disclose? It will maybe ASH(American Society of Hematology) ? or another conference, another venue ?, firstly.

Secondly, if possible Tani-san to comment on the diagnostics. How far are you going that?

谷：一応、most probably には ASH と考えております。ただ昨年も ASH であると当然、僕らは予想していたんですけども、フランスのほうの学会で 11 月に先行発表みたいなことがありましたので。

でも、今いろいろ彼らと電話会議等をやっている状況からは、most probably には in ボストン、ASH と、その可能性が一番高いと考えております。

それから、いわゆるこれはご存知のとおり、コンパニオンドラッグといいますか、RAR $\alpha$ が一定の濃度以上で存在しているものの患者が有効であると。そういうセオリーに基づいております。

既にそういう診断薬のシステムについては、プロトタイプ的なところは既にできあがっていると。ただそれをどうマーケットのチャンネルに乗せていくかは、これはフェーズ 3 の中で決められていくことになると思うんですけども。

既にノウハウなり、これ以上の患者であればこういう反応があると。そういうデータは既にフェーズ 2 で確定しておりますので。それをどう商業チャンネルに、あるいはいわゆる検査センターですね、日本でいいますと。それとどうリンクしていくかは、それこそアメリカでのフェーズ 3 の課題になってくるかと思えますね。

ただ、それもいろんな、これもあれですけども、電話会議等を通じますと、彼らは非常に順調にやっているよと。新薬、ダイアグノスティックスカンパニーとの協議は順調に進んでいるよと聞いております。

司会：ありがとうございました。ほかにご質問ございませんでしょうか。

それではご質問もないようですので、これをもちまして会社説明会を終了いたします。社長様、どうもありがとうございました。

谷：ありがとうございました。

[了]

---

## サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com



## 脚注

1. 音声不明瞭な箇所に付いては[音声不明瞭]と記載

---

## サポート

|         |              |         |                        |
|---------|--------------|---------|------------------------|
| 日本      | 03-4405-3160 | 米国      | 1-800-674-8375         |
| フリーダイヤル | 0120-966-744 | メールアドレス | support@scriptasia.com |



## 免責事項

本資料で提供されるコンテンツの信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性等について、当社は一切の瑕疵担保責任及び保証責任を負いません。さらに、利用者が当社から直接又は間接に本サービスに関する情報を得た場合であっても、当社は利用者に対し本規約において規定されている内容を超えて如何なる保証も行うものではありません。

本資料または当社及びデータソース先の商標、商号は、当社との個別の書面契約なしでは、いかなる投資商品（価格、リターン、パフォーマンスが、本サービスに基づいている、または連動している投資商品、例えば金融派生商品、仕組商品、投資信託、投資資産等）の情報配信・取引・販売促進・広告宣伝に関連して使用をしてはなりません。

本資料を通じて利用者に提供された情報は、投資に関するアドバイスまたは証券売買の勧誘を目的としておりません。本資料を利用した利用者による一切の行為は、すべて会員自身の責任で行っていただきます。かかる利用及び行為の結果についても、利用者自身が責任を負うものとします。

本資料に関連して利用者が被った損害、損失、費用、並びに、本資料の提供の中断、停止、利用不能、変更及び当社による本規約に基づく利用者の情報の削除、利用者の登録の取消し等に関連して会員が被った損害、損失、費用につき、当社及びデータソース先は賠償又は補償する責任を一切負わないものとします。なお、本項における「損害、損失、費用」には、直接的損害及び通常損害のみならず、逸失利益、事業機会の喪失、データの喪失、事業の中断、その他間接的、特別的、派生的若しくは付随的損害の全てを意味します。

本資料に含まれる全ての著作権等の知的財産権は、特に明示された場合を除いて、当社に帰属します。また、本資料において特に明示された場合を除いて、事前の同意なく、これら著作物等の全部又は一部について、複製、送信、表示、実施、配布（有料・無料を問いません）、ライセンスの付与、変更、事後の使用を目的としての保存、その他の使用をすることはできません。

本資料のコンテンツは、当社によって編集されている可能性があります。

---

## サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

